

動きを高めることで、運動の楽しさを 味わわせる体育授業のあり方

大分県日出町立藤原小学校

全校児童数	211名(男子95名 女子116名)		
全クラス数	8	教職員数	20名
体育専科教員訪問学校数			5校
訪問校	大神小学校	豊岡小学校	藤原小学校
	日出小学校	川崎小学校	
体育専科教員名		旭 亮 介	

Plan：取組時の課題と計画

1 取組時の課題

- ◇昨年の体力状況調査の結果等から
 - ・低い傾向にあった体力の向上（50m走、反復横跳び・立ち幅跳び）
- ◇生活習慣調査等から
 - ・朝食摂取率・運動に対する愛好度の向上

2 取組の計画

- （1）体育授業の充実
 - ・運動好きな子どもの増加（技能、意欲、体力の向上）
 - ・運動量の十分な確保、多様な運動経験、成功体験の蓄積
- （2）指導者の意識、指導力の向上
 - ・体育授業の工夫改善や体力向上についての意識改革
 - ・体力向上プランや一校一実践の組織的・継続的な取組
- （3）体育環境の充実
 - ・全学校での運動施設の整備や利用方法の工夫、体育倉庫や教材・教具の整理整頓
 - ・体育専科通信や意欲向上につながる校内掲示による運動の日常化
望ましい生活習慣の確立

Do：実践内容

（1）体育授業の充実

- ①分散登校からの体力回復のための運動の実施（「走」「跳」を中心としたサーキット型運動やハードル走）
- ②密を避けながら取り組むための体育授業の考案、紹介、実施
- ③子どもが主体的に運動に取り組める空間や場の設定
- ④異年齢集団を活用した、縄跳び集会の実施（拠点校にて）

（2）指導者の意識、指導力の向上

- ①T1となって授業を提示、またT2としての専門的アドバイス
- ②体力向上プランや一校一実践の作成の支援
- ③愛好度・朝食摂取率のアンケートの実施、町内体育実技講習会の開催、授業公開（指導主事を招聘して）
- ④各校からの1ヶ月の授業計画作成による授業内容の把握

（3）体育環境の充実

- ①運動場整備、体育館倉庫やラインの補修
- ②体育用具の補充と整理整頓
- ③掲示の工夫による動きやポイントの可視化

◎工夫したこと（&苦勞した点）

- （1）体育授業の充実、指導者の意識・指導力の向上
 - 密にならないように取り組める授業内容の実施。「ネット型」や「ベースボール型」、また個人で競い合えるゲーム内容を中心に行ったりした。
- （2）指導者の意識、指導力の向上
 - T1となって「どのような力を身に付けさせたいのか」「何を

評価するのか」を明確にしたうえで授業展開、場の設定の工夫を努めた。

- 体育実技講習会の開催、指導方法の紹介（体力状況調査）
- 訪問授業：日出町内の小学校4校に基本毎週訪問

	月	火	水	木	金
	大神小	豊岡小	藤原小	日出小	川崎小
前期	午後 5, 6年		1日	午後 5, 6年	
後期	午前 1~4年			午前 1~4年	

※運動会練習中については2週間の間、各校1日訪問

- 「日出町共通フォルダ」を活用した、データの共有化。
- （3）体育環境の充実
 - 体育行事の実施による体力向上
 - 異年齢集団を活用したなわとび集会
 - 全校の体育倉庫の整理整頓、運動場のコースロープ修繕、体育用具の修繕、教材教具の発注
 - 体育教具の作成

Check：取組の成果

- （1）体育授業の充実について
 - 休校中の体力回復のために「走」「跳」を中心とした運動を屋内外において取り組み、自分のペースで意欲的に運動する姿が多く見られた。
 - 個人で取り組む活動の授業においては、一斉に行う部分と自分で課題を持って運動に取り組む場や時間の設定を行うことで、子どもたちが積極的に取り組む姿が多く見られた。
- （2）指導者の意識、指導力の向上について
 - 単元の評価の提示や評価する場面について指示、または場の設定や工夫の紹介をすることで、改善が見られてきた。
 - 実技講習会や授業公開を行うことにより取り組み方について示唆することができた。
- （3）体育環境の充実について
 - 使用の少ない用具を工夫して設定できることを伝えたり、不備なものを知らせたり購入したりするきっかけを与えることができた。

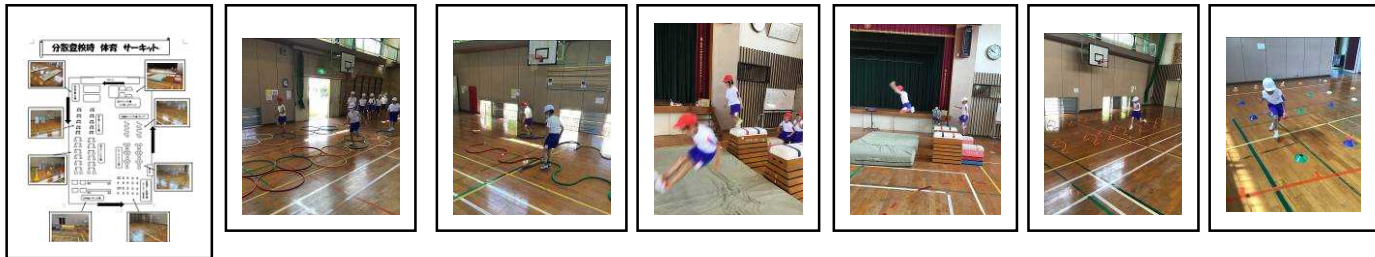
Action：今後の課題

- 訪問校との連絡が不十分で、指導者がどのような力を身に付けさせたいのか不明確であることが多かった。単元計画や評価規準計画、運動の系統性などを訪問先にメールなどで知らせ、授業を計画的に取り組めるようにしていくことが大切であると感ずる。そのためにも単元計画や運動の系統性など、さらに情報発信していくことが今後の課題である。
- 感染防止に細心の注意を払いながらも、今後どのような運動ができるのかを再度検討し、再編成していく必要がある。

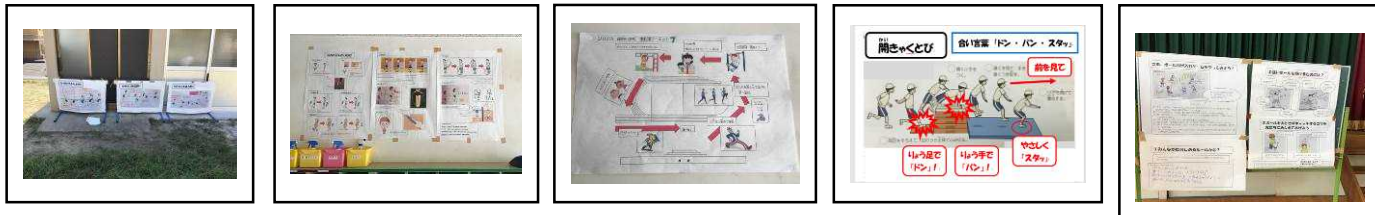
◎体力向上の取組がもたらす波及効果

- ・運動への愛好度を高める、苦手としている子どもの意識改革
- ・体育授業に取り組む指導者の意識の向上、指導方法の改革
- ・全小学校への訪問による他校との連携・情報共有
- ・体育環境の充実

休校後の分散登校時に行った密をさけた中での室内サーキット運動



動きやポイントの可視化, 掲示の工夫



単元計画・指導方法の紹介, 提案



体育通信の発行, 保護者への喚起



町内公開授業研 2年生「ゲーム:ボール投げ入れゲーム」

